

さらなる飛躍へ、吹田のこれから

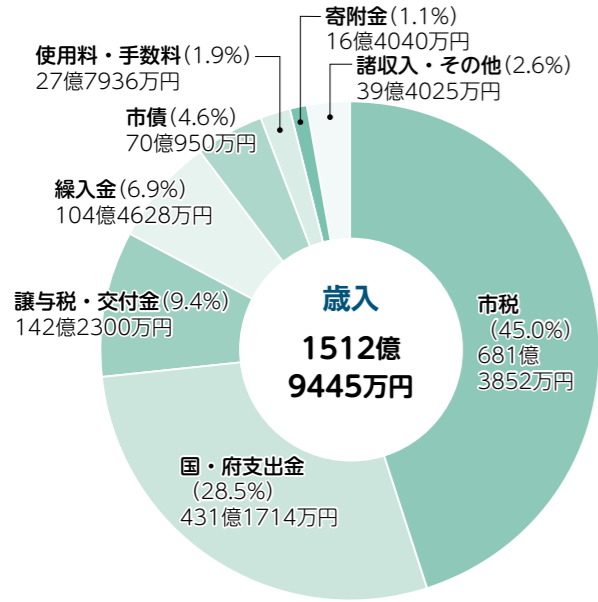
令和4年度 施政方針と当初予算案

当初予算案

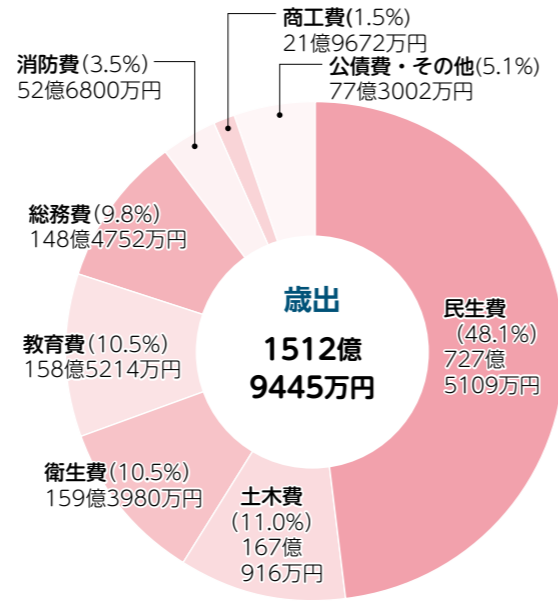
市議会2月定例会に提案した令和4年度の当初予算案です。市議会の承認を経て取り組みを進めます。

一般会計の歳入・歳出

令和4年度一般会計の歳入・歳出予算の内訳です。一般会計は、福祉や教育、公共施設の建設や整備など、市の基本的な事業を担うものです。予算の総額は1512億9445万円となり、前年度に比べ7.5%、105億3372万円増加しました。



- 市税** 市民税や固定資産税などです。
- 国・府支出金** 特定の事業に対して国・府から支出される負担金や補助金などです。
- 繰入金** 特定の目的のために資金の積み立てを行う各基金などから繰り入れるお金です。
- 使用料・手数料** 施設使用料や、住民票の写しの交付手数料などです。
- 譲与税・交付金** 国税から譲与される譲与税や、国・府からの各種交付金です。
- 市債** 市が国や銀行などから借りる長期借入金です。



- 民生費** 子育て支援や高齢者、障がい者の福祉などの事業にかかる経費です。
- 教育費** 小中学校などの学校教育や図書館などの社会教育にかかる経費です。
- 衛生費** 感染症対策や健康づくり、ごみ処理などの事業にかかる経費です。
- 総務費** 窓口業務や庁舎管理、広報などの事業にかかる経費です。
- 土木費** 公園や道路の整備、都市計画などの事業にかかる経費です。
- 教育費** 小中学校などの学校教育や図書館などの社会教育にかかる経費です。
- 公債費** 市債の返済にかかる経費です。

各会計の予算額

一般会計のほか、目的に応じて設けている会計は以下のとおりです。

	前年度比
国民健康保険	349億3821万円 2.7%
介護保険	307億5044万円 2.9%
後期高齢者医療	64億8826万円 13.4%
公共用地先行取得	26億 380万円 ▲31.6%
病院事業債管理	15億1765万円 1.5%
部落有財産	4億9593万円 ▲1.4%
母子父子寡婦福祉資金貸付	5854万円 ▲19.6%
勤労者福祉共済	3938万円 0.9%

	前年度比
収益的 事業収益	84億2374万円 2.4%
収支 事業費用	70億5118万円 8.3%
資本的 収入	13億8235万円 ▲0.2%
収支 支出	55億9309万円 23.2%
収益的 事業収益	95億1426万円 ▲1.8%
収支 事業費用	85億1783万円 ▲3.1%
資本的 収入	35億 746万円 24.3%
収支 支出	67億7463万円 5.2%

施政方針の全文



市議会への提出資料



令和4年2月17日に市議会2月定例会が開会し、後藤市長が新年度の施政方針を述べるとともに、令和4年度当初予算案を提案しました。要約して紹介します。

企画財政室(TEL6384・1632 FAX6368・7343)

施政方針

吹田に住まう幸せを 実感できるまちへ

はじめに 昨年の大半は、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の中で過ごした日々でした。「吹田市民の命は吹田市が守る」という責務の下、保健所業務をはじめ、ワクチン接種、市独自の支援など、多様な対策を講じてきました。さらなる感染拡大の防止策を迅速に実行し、市民、市内事業者のみなさまを全力でお支えします。

危機管理体制の充実

消防、救急、医療、保健などの公助機能と、それをマネジメントする危機管理体制の強化に切れ目なく取り組みます。また、自治体間連携を進め、より強固な体制を構築します。

健康医療・福祉

誰もが自分らしく幸せに暮らすことを重ねることができると「幸福社会」の実現に向け、北大阪健康医療都市「健都」を核に、フレイル予防や認知症対策、禁煙啓発などに取り組み、全ての世代のQOL(フオリティ・オブ・ライフ)の維持向上を図ります。

教育

小学校の35人学級編制、GIGAスクール構想など、学びの環境が大きく変わろうとする機会を教育改革の好機と捉え、特色ある教育モデルを構築します。中学校給食の全員喫食化など、ソフト・

ハードの両面から、より良い教育環境に向けた取り組みを推進します。

子育て

「社会や地域全体で子供の健やかな育ちを支える」という考えの下、切れ目なく子育て世帯をサポートし、安心して子育てのできる環境を整えます。保育施設の計画的な整備や、保育の質の向上にも取り組みます。

環境

持続可能な地域社会の実現に向けて、脱炭素、資源循環、自然共生を基調としたまちづくりを進めます。「もったいない」の精神の下、市役所が率先してペーパーレス化や省エネ、節エネに取り組みます。

都市基盤・施設

都市インフラの維持管理経費を、「まちの固定費」と考え、適切な予算投入により、健全な都市基盤を次世代に引き継ぎます。区画整理などの難課題への取り組み、公園の魅力向上などにより、一層高質で持続可能なまちをめざします。

文化・スポーツ・都市魅力

スポーツや文化、芸術は、いきいきと暮らしやすさの大切な生命維持装置です。時代に合ったスポーツ施設のあり方の検討や、文化芸術に触れる機会の創出、幅広い世代が交流できる複合施設、多文化共生社会の実現に向けた取り組みなどにより都市魅力の向上に努めます。

行政運営

限られた人材と財源を有効活用し、財政の健全性を保持しながら、中核市としての権限を適切に発揮していかなければなりません。市民にとって「直ちに必要なこと、これから必要になること」を総合的に判断し、実施します。

結び

びに 人口減少時代に住民が増え続けている状況は、高質なまちとしての評価の現れでしょう。本市の魅力さらさらに磨き上げ、吹田に住まう幸せを実感していただくよう、引き続き市政運営に全力を傾けることを決意します。

今秋オープン予定

複合施設を建設中

令和6年春オープン予定

「まちなかりビング北千里」の整備

11億4233万円

北千里小学校跡地に、児童センター、公民館、図書館が集まる複合施設を建設。「複合施設による子育て・学びの拠点づくり」をコンセプトに、幅広い世代が交流できる施設をめざします。



北部消防庁舎等複合施設の整備

12億1042万円

阪急南千里駅前に、北消防署・中消防庁舎、土庫舎を集約し、災害発生時に市北部の対応拠点となる複合施設を建設。教育センターなどの教育機能も集約し、施設の効率性を高めます。

住みやすく整備されたみどり豊かなまちへ

環境

都市基盤・施設

●北千里駅前地区等における再開発の検討 3517万円

民間施行の市街地再開発事業の実現に向けて取り組みを推進。

●緑化重点地区の再整備 2億8479万円

比較のみどりの少ないJR南吹田駅周辺地区にある6公園を順次再整備。みどり豊かな環境をつくります。

●道路などの整備 61億6991万円

- 山田三ツ辻交差点付近の安全対策
- 都市計画道路千里丘朝日が丘線の未整備区間(千里丘工区)の整備
- 佐井寺西地区土地区画整理事業の推進
- 上の川に遊歩道を整備するための河川暗きょ化工事

●官民連携による都市公園の魅力向上 3億9279万円

江坂公園、桃山公園をはじめとした市内公園の魅力の向上を図るため、民間事業者による指定管理などを実施。



●公共施設の照明のLED化 3809万円

複数施設の一括LED化に向けた現地調査を実施。

●所有者のいない猫対策 90万円

地域猫活動を支援するための避妊・去勢手術費用の補助や物品の提供などを実施。

活力があり、多文化共生できるまちへ

文化・スポーツ・都市魅力

●多彩な文化イベントの開催 154万円

新しく策定した文化政策ビジョンのもと、まちなかでの音楽ライブや子供のためのワークショップなどを実施。文化芸術に触れる機会を増やします。

●ガンバ大阪ホームタウン推進 630万円

郵便ポストや路線バスに新エンブレムデザインのラッピングを実施。

●外国人総合相談窓口の開設 1122万円

さまざまな困りごとが相談できる、多言語対応のワンストップ窓口を開設。

●中小企業等チャレンジ補助金 AP 1億3810万円

新分野展開や生産性向上などに向けた事業計画策定や設備投資を行う事業者に補助金を支給。

●融資利用事業者応援金 AP 5億3479万円

売上が減少したことにより、セーフティネット保証などの融資を受けた事業者に20万円を支給。

時代と市民ニーズに合った市役所へ

行財政運営

●自治体DXの推進 4億5409万円

保育施設利用申し込みなど手続きの電子化、「電子申し込みシステム」へのキャッシュレス決済機能の導入、災害用などの公衆無線Wi-Fiの整備など。

●第4次総合計画の中間見直し等 996万円

第4次総合計画の中間見直し、人口推計の見直し、第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定などを実施。

主な取り組み

令和4年度の事業として提案した中から、主なものを紹介します。APは、新型コロナウイルス感染症に影響を受けている分野を支えるための緊急的なアクションプランです。(金額は令和4年度の事業費)

有事に対応できるまちへ

危機管理体制の充実

●危機管理センターの設置 1億9514万円

初動対応体制強化のため、本庁舎内に災害対応オペレーションルームと災害対策本部会議室を常設できるスペース、応援部隊活動拠点スペースを設け、災害対応オペレーションシステムを備えたセンターを設置。

●広域消防指令情報システムの構築 2651万円

119番の受信など消防の通信指令業務を豊中・池田・箕面・摂津市と共同運用するシステム。北部消防庁舎等複合施設の開設に併せた開始をめざします。

全世代が心も体も健やかに過ごせるまちへ

健康医療・福祉

●卒煙支援ブースの設置 6221万円

JR吹田駅、岸辺駅に密閉型喫煙所を設置。受動喫煙、ポイ捨て防止につながるほか、ブース内では禁煙促進の啓発動画などを配信し、卒煙を促します。

●フレイル予防の推進 254万円

歯科衛生士を配置し、オーラルフレイル予防を目的とした個別相談、健康教育を実施。タブレット端末を用いた認知機能評価も行います。

●健康支援アプリの共同開発・運用 66万円

国立循環器病研究センター、企業との共同研究により、健康寿命の延伸を目的とした市独自アプリを開発。母子手帳機能なども搭載します。

●国循「かるしお」と連携した食育の実施 331万円

「かるしお」を取り入れた小学校の給食メニューの開発と食育を実施。適切な食塩摂取に取り組みます。

子供みんなに優しいまちへ

教育

子育て

●学校教育情報通信ネットワーク再構築業務 10億4280万円

教職員の働き方改革で子供たちと向き合う時間を充実させるため、ネットワーク環境を増強し校務・人事システムの再構築と徴収金システムを導入。

●(仮称)山田こども園の整備 1億9099万円

山田保育園と南山田幼稚園を集約した幼保連携型認定こども園を、令和7年4月開園に向け整備。令和4年度は建設予定地の解体工事などを実施します。

●産・学・官連携によるインクルーシブな学校づくり 153万円

東京大学大学院教育学研究科などと連携し、「障害の社会モデル」への理解を深める教職員研修や授業などを実施。

●小学生の給食費を無償化、中学生は半額にAP 10億5463万円

市立中学校は選択制で給食費が半額の170円に。

●私立保育所などに感染症対策に係る施設改修費などを補助 AP 6844万円

自動水栓の設置、トイレの乾式化などの経費を補助。

●市立小中学校が実施する修学旅行などの感染症対策などに係る経費を補助 AP 2億2394万円

修学旅行などを延期・中止した場合のキャンセル料や、バスの増便、宿泊部屋の増室の経費などを補助。